

別紙

ユニオンタイヤコード株式会社三原工場温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

ユニオンタイヤコード株式会社 三原工場

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町1丁目1番1号

(3) 業種

1159 その他の繊維粗製品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成10年度（1998年度）を基準とする平成27年度（2015年度）から平成29年度（2017年度）までの3年間とする。

3 計画の基本的な方向

< 基本的な考え方 >

当社は昨今の環境問題、エネルギー情勢を受け環境負荷の低減、省エネルギー推進に努めることにより健全な社会環境に貢献します。特に温室効果ガスの排出による地球温暖化については真摯に受け止め、いっそうの排出抑制に向けて努力していきます。

< 方針 >

- 環境関連法令および労働安全衛生関係法令並びに組織が定めた規則、協定を順守する。
- 「地球環境にやさしい事業所」を目指し、汚染の予防を含めた環境保全活動に取り組み、健全な環境の向上に努めると共に、環境問題ゼロを達成する。
- 全員で災害ゼロ並びに職業性疾病ゼロを目指し、労働安全衛生のパフォーマンス向上とシステムの継続的な改善を図る。
- 環境目的・目標および労働安全衛生目標を定め、その実現を図ると共に定期的に見直しを行い、継続的改善を推進する。
- 本方針は、事業所活動の根幹をなすものであり、全従業員および構成員が本方針に沿って行動するよう教育を行い、合せて外来者への周知に努める。
- 環境・労働安全衛生方針は、文書化し、社外から要求があれば公開する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成10年度	直近年度 平成26年度
二酸化炭素		39,887	11,908

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度 平成10年度	直近年度 平成26年度
メタン		6	6
一酸化二窒素		4	4
HFC PFC SF ₆			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)	削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂				
非エネルギー起源CO ₂				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計				
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方				

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産量(t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成10年度)			原単位 削減目標	目標年度 (平成29年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	39,887	18,053	2.209	51.0	8,332	7,693	1.083
非エネルギー起源CO ₂							
メタン	6	18,053	0.0003	-100.0	5	7,693	0.0006
一酸化二窒素	4	18,053	0.0002	-100.0	3	7,693	0.0004
フロン類							
総排出量	39,897	18,053	2.210	51.0	8,340	7,693	1.084
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)			0.4904	13.4			0.4249
目標設定の考え方	目標原単位は平成26年度実績対比3%減にて設定						

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	熱エネルギー及び電力総合原単位の削減	熱エネルギー及び電力総合原単位を基準年度対比CO2換算51.0%削減	製造設備の効率化運転
			圧空設備の省エネ運転
			冷暖房温度の適正管理（事務所等）
			温調機の適正管理（工場内）
			不要照明消灯の励行
			廃熱の有効利用

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

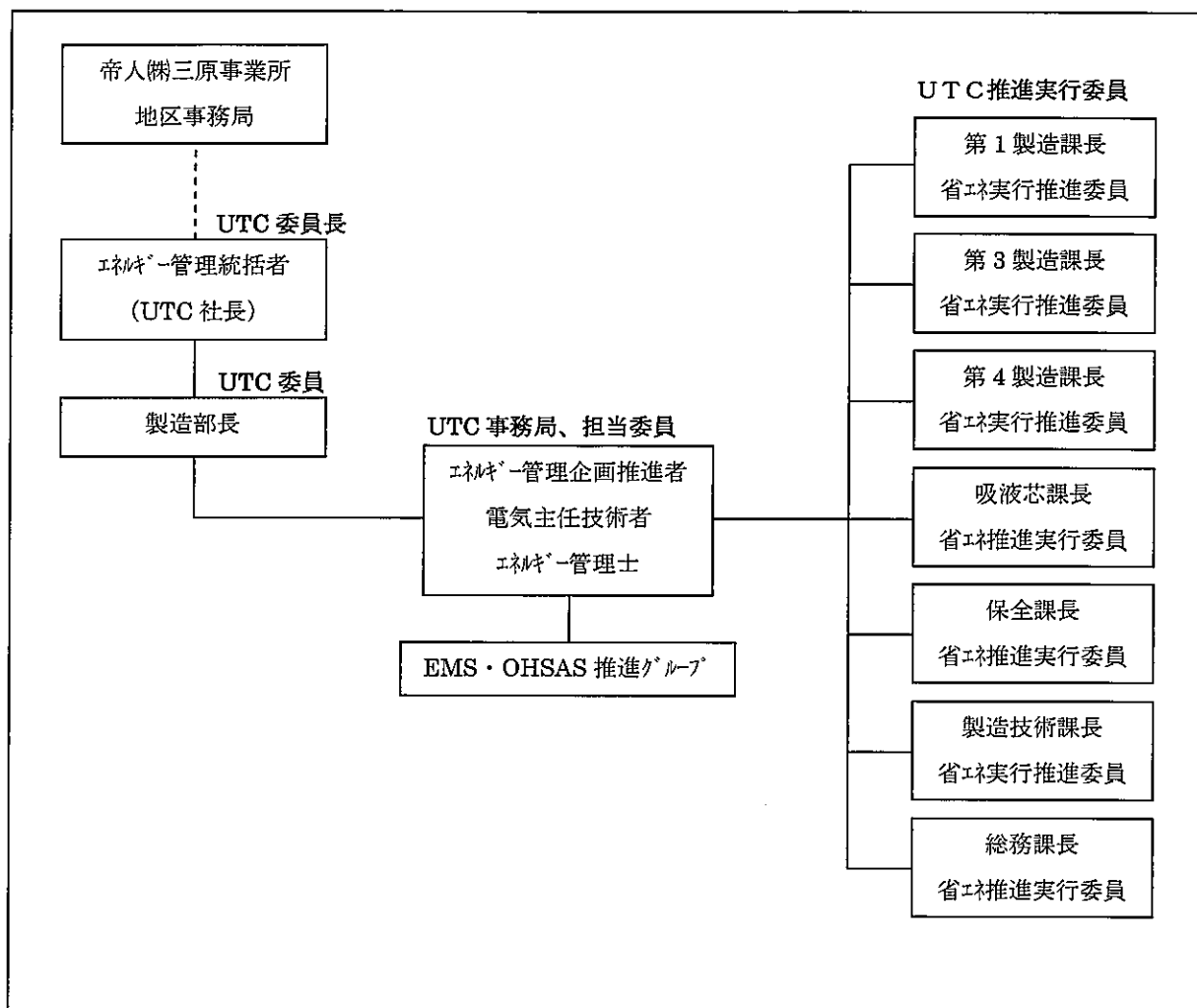
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	有害化学物質排出量の削減	アンモニアの大気への排出量を前年度対比平均4%削減	蓄熱脱臭装置の運用
2	産業廃棄物の削減	産業廃棄物排出原単位を前年度対比平均1%削減	廃棄物の有価売却など
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

年度毎に基本方針、年度目標を設定し年度実施計画表に沿った進捗度管理を各担当にて実施し、評価、見直し等の報告を定期的に行うことで継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

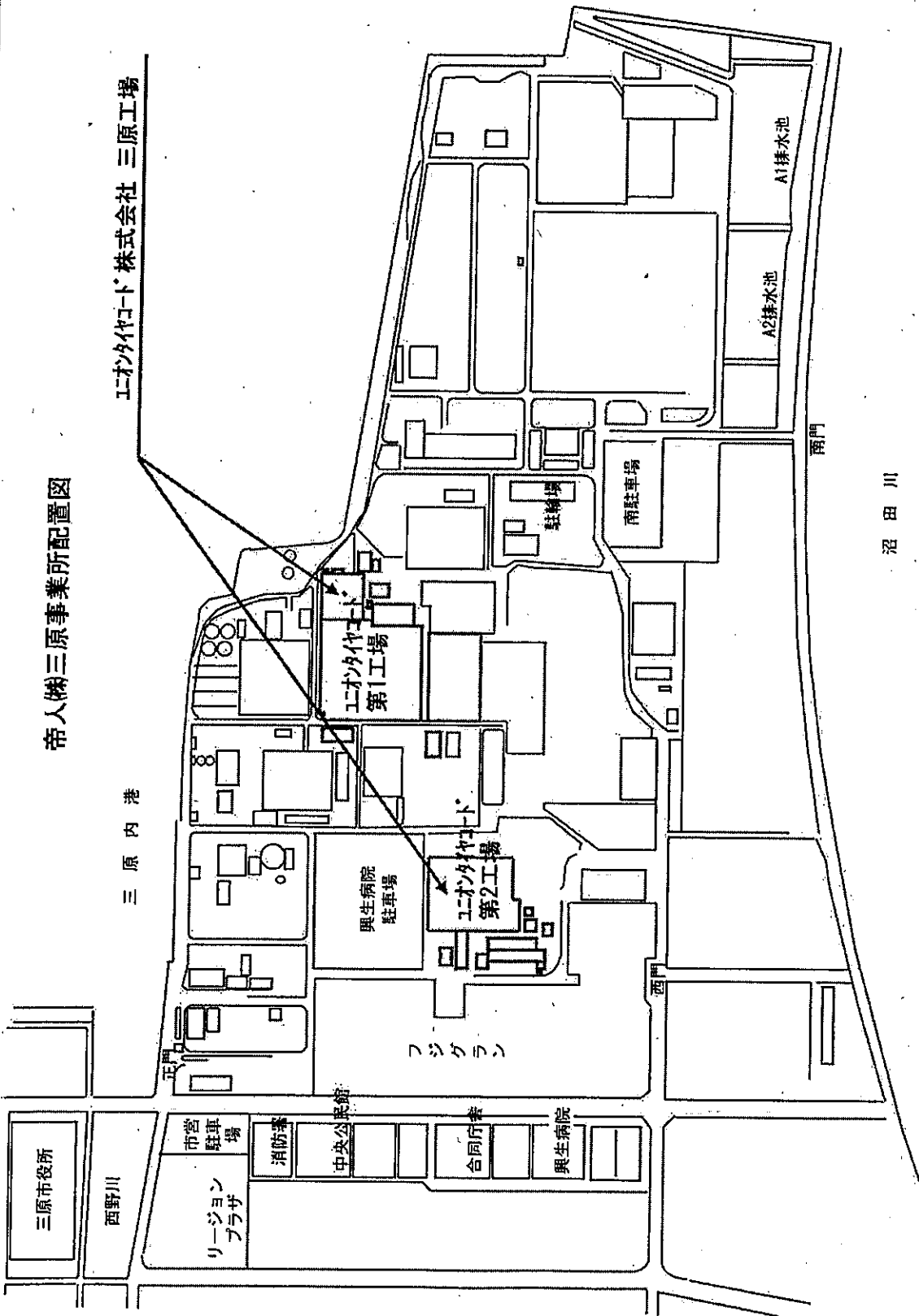
当社へ備付けにより閲覧できるようにする。

N 4

帝人㈱三原事業所配置図

ユニオンコード株式会社 三原工場

三原内港



図面名	事業所位置図		担当
	作成年月日	修正年月日	